



## 2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年11月12日

上場会社名 大同メタル工業株式会社 上場取引所 東名  
 コード番号 7245 URL <https://www.daidometal.com/jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼最高経営責任者 (氏名) 判 治 誠 吾  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役兼常務執行役員 (氏名) 三 代 元 之 TEL 052-205-1400  
 経営・財務企画ユニット長  
 四半期報告書提出予定日 2020年11月12日 配当支払開始予定日 2020年12月7日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	36,349	28.3	2,555		2,875		2,549	
2020年3月期第2四半期	50,701	5.8	2,335	37.2	2,180	35.3	926	47.3

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 3,894百万円 ( %) 2020年3月期第2四半期 1,235百万円 (13.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期 純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	55.12	
2020年3月期第2四半期	19.49	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	159,156	59,479	32.6
2020年3月期	159,539	64,168	35.1

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 51,819百万円 2020年3月期 55,988百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		20.00		15.00	35.00
2021年3月期		10.00			
2021年3月期(予想)					

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

(注) 1. 2020年3月期中間配当金の内訳 普通配当15円00銭 記念配当5円00銭(創立80周年記念配当)  
 2. 2021年3月期期末配当金につきましては、現時点では未定です。

### 3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響により、現時点での合理的な算出が困難であることから、未定といたします。

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

## 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	47,520,253 株	2020年3月期	47,520,253 株
期末自己株式数	2021年3月期2Q	1,194,536 株	2020年3月期	1,350,633 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	46,238,699 株	2020年3月期2Q	47,519,874 株

(注)当社は、「信託型従業員持株インセンティブ・プラン(E-Ship)」及び、取締役及び執行役員向けに、信託を用いた業績連動型株式報酬制度を導入しております。当該信託に残存する当社株式は、期末自己株式数及び期中平均株式数の算定上、控除する自己株式に含めております。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

## 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(決算補足説明資料の入手方法)

決算補足説明資料「2021年3月期 第2四半期(累計)連結決算ハイライト」は、TDnetで本日開示しております。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(追加情報)	11
(セグメント情報等)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、中国では緊急事態宣言の解除に伴う経済活動再開による段階的な需要回復がみられ始めましたが、その他の地域では極めて厳しい状況となりました。

わが国経済においては、緊急事態宣言の解除後に個人消費や生産活動において一定の回復がみられたものの、新型コロナウイルス感染症拡大に伴う世界経済の停滞による輸出の減少など、先行きが不透明な状況が続いております。

このような市場環境下、当社グループの当第2四半期連結累計期間における業績につきましては、主に自動車産業関連の全世界的な需要の伸び悩みにより、売上高は363億49百万円と前年同四半期比143億52百万円(△28.3%)の減収となりました。

利益面につきましては、営業損失は25億55百万円(前年同四半期は営業利益23億35百万円)となりました。また、経常損失は28億75百万円(前年同四半期は経常利益21億80百万円)となり、親会社株主に帰属する四半期純損失は25億49百万円(前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益9億26百万円)となりました。

セグメントの業績は、次のとおりです。

なお、セグメント間の内部売上高又は振替高は、セグメントの売上高に含めております。

また、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントとして記載する事業セグメントを変更しており、当第2四半期連結累計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。詳細は、「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(セグメント情報等)③報告セグメントの変更等に関する事項」をご参照ください。

## ① 自動車用エンジン軸受

日本国内の当第2四半期連結累計期間の新車販売台数は、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、前年同四半期に比べ約23%減少しており、海外も同様の影響を受け、中国は回復基調ではあるものの約17%の減少、タイは約37%の減少、欧州は約36%の減少及び米国でも約24%減少し、当社グループをとり巻く環境は、極めて厳しい状況となりました。

そのような状況下、自動車産業全体の需要減により当社グループの国内の売上高は約31%の減少、また海外の売上高も同様に約31%減少したことから、当セグメントの売上高は前年同四半期比31.1%減収の200億42百万円、セグメント利益は同89.7%減益の3億67百万円となりました。

## ② 自動車用エンジン以外軸受

新型コロナウイルス感染症拡大による影響から、売上高は前年同四半期比23.1%減収の66億47百万円、セグメント利益は同69.2%減益の4億35百万円となりました。

## ③ 非自動車用軸受

## ・ 船舶分野

2020年9月末の手持ち工事量は1,445万総トンと前年同四半期末と比べ約33%減となり、1997年以来の低水準が続いております。当社グループにおいては、LNG船(液化天然ガスを運ぶタンカー)のエンジン軸受で中国・韓国向けに新規開拓の継続的な受注はあるものの、低速ディーゼルエンジン用軸受の需要落ち込みや世界の荷動きの停滞による船舶の稼働抑制などの影響を受けメンテナンスの需要も減少し、売上高も前年同四半期比約9%の減少となりました。

- ・建設機械分野

いち早く経済活動を再開した中国では、インフラ需要の増加を受け堅調に推移したものの、それ以外の主要地域では、経済活動の停滞などを受け建機需要が大きく落ち込みました。また、アジアの最大市場であるインドネシアにおいても燃料価格の下落に伴う鉱山機械の需要低迷に加え、アジア諸地域における新型コロナウイルス感染拡大の影響により需要の低迷が続いており、当社グループの売上高も減少となりました。

- ・一般産業分野におけるエネルギー分野

エネルギー市場における化石燃料の発電市場全般については、CO2削減の観点から厳しい環境が続いているものの、高効率型の火力発電向けのガスタービン、蒸気タービンや水力発電機用軸受の受注増があり、売上高は前年同四半期比約20%の増加となりました。

これらの結果、一般産業分野におけるエネルギー分野の売上増があったものの、当セグメントの売上高は前年同四半期比4.7%減収の50億28百万円、セグメント利益は一般産業分野におけるエネルギー分野の売上増が寄与し、同3.5%増益の8億49百万円となりました。

④ 自動車用軸受以外部品

- ・アルミダイカスト製品

タイの自動車産業が低調な上、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、タイの自動車輸出台数が大幅に減少し、売上高は前年同四半期比で減少しております。また、電動自動車用部品の生産を開始しましたタイの新工場（DMキャスティングテクノロジー（タイ）CO., LTD.）においては、需要の減少や新規納入の後ろ倒しにより売上高が当初の見込みに比べ減少しましたが、今後は徐々に売上に寄与してまいります。セグメント利益についても売上低迷の影響により減益となりました。

- ・曲げパイプ、ノックピン、NC切削品などの部品

新型コロナウイルス感染症拡大の影響による国内外の受注減少により減収となりました。セグメント利益についても売上の低迷により減益となりました。

これらの結果、当セグメントの売上高は前年同四半期比41.1%減収の42億85百万円、セグメント損失は11億65百万円（前年同四半期はセグメント損失2億75百万円）となりました。

⑤ その他

一部設備用ポンプのスポット受注はあったものの、米中貿易摩擦による減速に加え、新型コロナウイルス感染症拡大の影響により全般的な設備投資の減速が続きました。

これらの結果、電気二重層キャパシタ用電極シート、金属系無潤滑軸受事業及びポンプ関連製品事業に不動産賃貸事業等を加えた当セグメントの売上高は前年同四半期比12.9%減収の10億82百万円、セグメント利益は同34.1%減益の1億82百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間における総資産は1,591億56百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億82百万円減少いたしました。これは主に現金及び預金が増加した一方で、受取手形及び売掛金、有形固定資産が減少したことによります。

流動資産は811億37百万円となり、前連結会計年度末に比べ23億55百万円増加いたしました。これは主に受取手形及び売掛金が減少した一方で、現金及び預金が増加したことによります。

固定資産は780億19百万円となり、前連結会計年度末に比べ27億38百万円減少いたしました。これは主に有形固定資産が減少したことによります。

負債につきましては996億77百万円となり、前連結会計年度末に比べ43億6百万円増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が減少した一方で、短期借入金が増加したことによります。

純資産は594億79百万円となり、前連結会計年度末に比べ46億89百万円減少いたしました。これは主に為替換算調整勘定のマイナスが増加したこと及び利益剰余金が減少したことによります。

自己資本比率は前連結会計年度末に比べ2.5ポイント減少し32.6%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、3億25百万円の収入となりました。これは主に減価償却費42億15百万円の一方、仕入債務の増減額の減少40億32百万円によります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、28億96百万円の支出となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出32億93百万円によります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、111億22百万円の収入となりました。これは主に短期借入金の純増減額の増加95億38百万円によります。

以上により、当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の残高は273億98百万円となり、前連結会計年度末に比べ82億28百万円増加いたしました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社は、2020年8月7日に発表した第1四半期決算短信において、新型コロナウイルス感染症の世界的な拡大の影響に伴い、合理的な算定が困難なことから、2021年3月期の連結業績予想を未定としておりました。

当社グループの主要取引先の事業活動は徐々に回復傾向にあり、これを受けて当社グループの全生産拠点についても操業を再開しております。但し、当社グループ事業を取り巻く市場環境については未だ変動要因も多く、回復時期やその程度については不確定な状況です。併せて新型コロナウイルス感染症の更なる長期化の懸念など、その影響について依然として不安定要素が多い状況下にあることから、現時点において当社グループ事業の業績予測を合理的に算定できる状態に至っていないため、連結業績予想の公表は控えさせていただきます。

利益配分に関する基本方針及び当期配当

当社は、株主の皆様へ、経営成績及び配当性向を考慮した適切な利益還元と、将来の事業展開、研究開発の拡充、経営基盤強化及び経営環境の変化などのための内部留保資金を総合的に勘案し、長期安定的な剰余金の配当水準を維持することを基本方針としております。

当期の中間配当につきましては、基本方針に基づき、資金需要及び内部留保の状況等を総合的に勘案した結果、1株当たり10円とさせていただきます。また、新型コロナウイルス感染症による今後の事業環境に与える影響は依然として不透明であるため、期末配当につきましては、引続き未定とさせていただきます。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	22,475	30,293
受取手形及び売掛金	23,625	18,779
電子記録債権	2,304	1,705
商品及び製品	12,278	11,763
仕掛品	9,039	9,455
原材料及び貯蔵品	6,889	6,942
その他	2,613	2,636
貸倒引当金	△445	△438
流動資産合計	78,781	81,137
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	15,822	15,928
機械装置及び運搬具（純額）	24,628	23,356
その他（純額）	20,523	18,385
有形固定資産合計	60,974	57,670
無形固定資産		
のれん	6,193	5,849
その他	6,124	6,418
無形固定資産合計	12,317	12,267
投資その他の資産		
投資その他の資産	7,522	8,137
貸倒引当金	△56	△56
投資その他の資産合計	7,465	8,081
固定資産合計	80,758	78,019
資産合計	159,539	159,156

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,481	5,711
電子記録債務	8,065	5,331
短期借入金	27,644	36,579
1年内返済予定の長期借入金	5,762	6,858
未払法人税等	885	246
賞与引当金	1,685	1,395
役員賞与引当金	105	—
製品補償引当金	185	174
環境対策引当金	50	33
営業外電子記録債務	809	759
その他	9,140	7,446
流動負債合計	61,816	64,538
固定負債		
長期借入金	21,889	23,516
株式給付引当金	8	12
役員株式給付引当金	16	23
債務保証損失引当金	186	197
退職給付に係る負債	6,967	7,175
資産除去債務	17	17
その他	4,468	4,195
固定負債合計	33,554	35,139
負債合計	95,370	99,677
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	8,413	8,413
資本剰余金	13,114	13,114
利益剰余金	37,693	34,431
自己株式	△1,016	△899
株主資本合計	58,204	55,060
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	361	526
為替換算調整勘定	△654	△2,007
退職給付に係る調整累計額	△1,922	△1,759
その他の包括利益累計額合計	△2,216	△3,240
非支配株主持分	8,180	7,659
純資産合計	64,168	59,479
負債純資産合計	159,539	159,156

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	50,701	36,349
売上原価	37,675	30,028
売上総利益	13,026	6,321
販売費及び一般管理費	10,691	8,876
営業利益又は営業損失(△)	2,335	△2,555
営業外収益		
受取利息	39	36
受取配当金	46	34
持分法による投資利益	50	—
助成金収入	—	150
その他	260	93
営業外収益合計	397	314
営業外費用		
支払利息	430	359
持分法による投資損失	—	20
為替差損	10	162
その他	111	90
営業外費用合計	552	634
経常利益又は経常損失(△)	2,180	△2,875
特別利益		
固定資産売却益	—	188
特別利益合計	—	188
税金等調整前四半期純利益 又は税金等調整前四半期純損失(△)	2,180	△2,686
法人税、住民税及び事業税	773	266
法人税等調整額	218	△349
法人税等合計	991	△82
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,188	△2,603
非支配株主に帰属する四半期純利益 又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	262	△54
親会社株主に帰属する四半期純利益 又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	926	△2,549

## 四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,188	△2,603
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△124	166
為替換算調整勘定	4	△1,562
退職給付に係る調整額	172	163
持分法適用会社に対する持分相当額	△5	△58
その他の包括利益合計	46	△1,290
四半期包括利益	1,235	△3,894
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	947	△3,573
非支配株主に係る四半期包括利益	288	△320

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益 又は税金等調整前四半期純損失 (△)	2,180	△2,686
減価償却費	4,631	4,215
のれん償却額	423	343
持分法による投資損益 (△は益)	△50	20
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	225	16
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△181	△288
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△155	△105
退職給付に係る資産負債の増減額	38	203
株式給付引当金の増減額 (△は減少)	—	4
役員株式給付引当金の増減額 (△は減少)	—	6
環境対策引当金の増減額 (△は減少)	3	△16
債務保証損失引当金の増減額 (△は減少)	—	11
受取利息及び受取配当金	△86	△71
支払利息	430	359
固定資産売却損益 (△は益)	—	△188
売上債権の増減額 (△は増加)	2,136	4,871
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△458	△569
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,292	△4,032
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△221	△343
その他の負債の増減額 (△は減少)	718	△892
その他	△457	684
小計	7,886	1,544
利息及び配当金の受取額	84	61
持分法適用会社からの配当金の受取額	26	—
利息の支払額	△432	△356
法人税等の支払額	△1,208	△924
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,355	325

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△1,063	△795
定期預金の払戻による収入	755	1,064
投資有価証券の取得による支出	△13	△11
有形固定資産の取得による支出	△4,088	△3,293
有形固定資産の売却による収入	47	1,075
無形固定資産の取得による支出	△977	△683
貸付けによる支出	△18	△221
貸付金の回収による収入	3	27
その他	4	△58
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△5,349</b>	<b>△2,896</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	2,533	9,538
長期借入れによる収入	686	5,522
長期借入金の返済による支出	△4,835	△2,704
セール・アンド・リースバックによる収入	362	—
ファイナンス・リース債務の返済による支出	△549	△424
自己株式の取得による支出	△0	△0
自己株式の処分による収入	—	82
配当金の支払額	△711	△711
非支配株主への配当金の支払額	△195	△180
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△2,709</b>	<b>11,122</b>
<b>現金及び現金同等物に係る換算差額</b>	<b>△41</b>	<b>△322</b>
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,745	8,228
現金及び現金同等物の期首残高	17,127	19,170
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,382	27,398

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

当該事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当該事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染拡大における会計上の見積りの仮定)

当社グループは、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による自動車メーカー等の生産台数の落ち込みに対応するため、各国において工場の一時的休業を含む生産数量の調整等を行っております。

当社グループにおける生産数量は、当第2四半期より回復基調に入ったものの、主要自動車メーカー等による各国の生産予測等や各種経済予測情報を踏まえると、感染拡大前の水準まで回復するには、概ね2年程度の期間を要するものと想定しております。

当社グループは上述した仮定を基に、固定資産の減損会計の適用及び繰延税金資産の回収可能性に関する会計上の見積りを行っております。

(セグメント情報等)

[ 前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日) ]

## ① 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	自動車用 エンジン 軸受	自動車用 エンジン 以外軸受	非自動車用 軸受	自動車用 軸受以外 部品	計		
売上高							
外部顧客への売上高	28,774	8,571	5,270	7,171	49,789	912	50,701
セグメント間の内部 売上高又は振替高	299	68	7	110	486	330	817
計	29,074	8,640	5,278	7,281	50,275	1,243	51,518
セグメント利益 又は損失(△)	3,569	1,412	821	△275	5,527	277	5,804

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、電気二重層キャパシタ用電極シート、金属系無潤滑軸受事業、ポンプ関連製品事業、不動産賃貸事業等を含んでおります。

## ② 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

(単位：百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	5,527
「その他」の区分の利益	277
セグメント間取引消去	7
全社費用(注)	△3,476
四半期連結損益計算書の営業利益	2,335

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

[ 当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日) ]

## ① 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	自動車用 エンジン 軸受	自動車用 エンジン 以外軸受	非自動車用 軸受	自動車用 軸受以外 部品	計		
売上高							
外部顧客への売上高	19,861	6,611	5,017	4,090	35,581	767	36,349
セグメント間の内部 売上高又は振替高	181	35	10	194	421	314	736
計	20,042	6,647	5,028	4,285	36,003	1,082	37,086
セグメント利益 又は損失(△)	367	435	849	△1,165	486	182	669

(注)「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、電気二重層キャパシタ用電極シート、金属系無潤滑軸受事業、ポンプ関連製品事業、不動産賃貸事業等を含んでおります。

② 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の内容  
(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利 益	金 額
報告セグメント計	486
「その他」の区分の利益	182
セグメント間取引消去	8
全社費用(注)	△3,233
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△2,555

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

## ③ 報告セグメントの変動等に関する事項

第1四半期連結会計期間より、「自動車用エンジン軸受」事業の一部を当社グループ内の事業管理区分の見直しに伴い「自動車用エンジン以外軸受」事業または「非自動車用軸受」事業に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。